

# 1人のエンジニアが材料と共に 加工機を渡り歩く

株式会社 豊栄工業



多能工エンジニアによる加工検討。

## いくつもの加工機を操る多能 エンジニア

最新の設備と独自開発の生産管理システムで自動車部品、機械部品、建築部材、医療機器など多様なニーズを試作から量産まで手がける豊栄工業は、金型設計製作、精密加工、プレス加工、板金加工を得意とする総合金属加工メーカーである。

### 多能工生産のメリット

この多能工生産にはエンジニア自身のモチベーションを奮い立たせるいくつかの優れたメリットがある。例えば金型部品、金型部品

を継承した技術者がモノと一緒に機械を渡り歩く多能工生産でお客様の精度で品質の高い製品を納めている。

日本のモノづくりを代表する「匠の技」「職人技術」といった特定の加工技術を極める専門職化。そんな専門職化から、あえて一人のエンジニアが複数の加工機を操り、材料から製品までの全工程を渡り歩く多能工生産へとシフトさせたのが同社だ。創業30年のノウハウと職人技術



樹脂金型パーツ（入子）。

を材料から製品へと仕上げる場合、材料↓荒切削↓焼き入れ↓仕上げ切削、ワイヤー、放電↓研削↓手磨き↓測定と複数の加工機を経た製品へと進む。

この工程をすべて任せられ、1人のエンジニアが製品になるまで責任をもって納める多能工生産は「ゴールを容易にイメージできることで、自らの経験とノウハウ、そして柔軟な発想力を存分に発揮し、改善、創意工夫を重ねながら多面的にモノづくりができる。さらには不良率の低下、生産効率の向上、精度出しを巧みに操ることがで

きるのだ。

すべての工程を把握することで次の工程をいかに効率よく行うか。どの工程で精度をだすか。多能工エンジニアの力の見せ所である。これに加えモノづくりの楽しさ達成感も同時に得ることができ、エンジニア自身の能力とやる気を引き出すことが可能なのだ。

### 専門職化から多能工化へシフトした理由

経営者として、若いエンジニアに「いろいろな経験をさせたい」「モノづくりの楽しさを知ってもらいたい」といった思いと、専門職化にすることで「他部署への異動が困難になってしまう」というような悩みも重なり、多能工化へと踏み切った。

材料から製品までの一環体制で仕上げる多能工化はこれらの悩みを解消しつつ、常に柔軟な発想で工夫を加え、作業効率のアップ、精度の高さを保てるメリットから



磨き工程：熟練仕上げ工。

低コスト、短納期、ミクロンの精密加工を実現している。

同社の持つ豊富な経験でのモノづくりを通して、数々の教育プログラムを構築し、未来を支える若手の人材育成にも力を注いでいる。毎日30分の自己啓発活動に取り組んでおり、新しいマシンの使い方、熟練工からの教授、新技術の情報収集などより多くの工程を熟知し、モノづくりをトータルで考えることができる多能工エンジニア集団を目指している。

加工一筋30年、これからも日本の製造業を支える企業でありつづきたいと願うその豊栄スピリットはこれからも若いエンジニアに引き継がれていくだろう。

編集部／山崎洋揮

## Company Profile

### 株式会社 豊栄工業

所在地：愛知県 新城市川田字新間平 1-369  
TEL: 0536-22-0696 FAX: 0536-22-0896

担当者：営業部 美和辰旺

事業内容：金型設計・製作、多品種少量精密金属部品加工  
(主に金型部品)、試作板金加工、プレス量産加工

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?53062>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「豊栄工業」で検索できます。

本誌付録の「ザ・日本製造業パワーアップCD-ROM」にて、同社の工場技術動画をご紹介します！

(写真／引地信彦)